

JP113 安濃川・志登茂川河口 (あのがわ・しともがわかこう)

三重県：津市

位置 N 34° 44′ E 136° 32′

面積 160ha

環境構成【干潟／砂州】

干潟、砂浜（一部に海浜植生あり）、砂州。
ミュビシギ、キアシシギが多数飛来し、シロチドリが繁殖する自然海岸と河口干潟、砂州。砂浜の一部に海浜植生がみられる。



写真提供：石原宏

選定理由

A4i

ミュビシギ・キアシシギ

保護指定

法的な担保がない、もしくはわずか（10パーセント未満）である

保全への脅威

- ・海岸への自動車の乗り入れ、人の侵入
- ・田中川河口左岸の養魚池が埋め立てられ、カワウのコロニーが消滅。

鳥類の個体数、生息環境の現状

- ・ IBA サイトにおける重要な鳥類（IBA 選定基準種）の個体数の変化
変わらない
- ・ IBA 基準種の個体数のカウント調査実施の有無：有
＜調査データの入手方法＞
環境省シギ・チドリカウント 冊子＝速報 あるいはデータベース
- ・ IBA 選定基準種の個体数に影響するような、IBA サイト内の重要な生息環境の変化：
変化はない
- ・ IBA 選定基準種の生息環境：
普通（70～90%が最適の状態）
- ・ IBA エリアの保全管理計画の有無：無

保全活動

- ・環境管理：実施者（日本野鳥の会三重）
内容：ミヤコドリのカウント、シギ・チドリ調査、探鳥会
- ・環境教育活動：
内容：探鳥会（日本野鳥の会三重）
普及、保全活動（白塚の浜を愛する会）
- ・モニタリング調査：
内容：環境省モニタリング調査、
ミヤコドリのカウント（日本野鳥の会三重）
ウミガメ調査（三重大学かめっぷり）
- ・その他：実施者（白塚の浜を守る会）
内容：環境保全活動、清掃活動

IBA サイトの保全に関する地域のグループ

- ・日本野鳥の会三重
- ・三重大学かめっぷり
- ・白塚の浜を守る会

見られる鳥

留鳥	シロチドリ＝繁殖、ヒバリ＝海岸で繁殖、カワウ＝小規模なコロニーあり
夏鳥	コアジサシ
冬鳥	ミヤコドリ、コクガン、オナガガモ、ヒドリガモ、マガモ 沖で見られるもの・稀に陸地に近づく＝ホオジロガモ、ウミアイサ、ハジロ カイツブリ
旅鳥	ハマシギ、ミユビシギ、キアシシギ、ユリカモメ、セグロカモメ、ウミネコ、ア ジサシ
迷鳥	ヘラシギ

関連団体・自治体・施設等

- ・日本野鳥の会三重
- ・志摩半島野生動物研究会
- ・白塚の浜を愛する会



Sources: Esri, HERE, DeLorme, TomTom, Intermap, increment P Corp., GEBCO, USGS, FAO, NPS, NRCAN, GecBase, IGN, Kadaster NL, Ordnance Survey, Esri Japan, METI, Esri China (Hong Kong), swisstopo, MapmyIndia, © OpenStreetMap contributors, and the GIS User Community